



利根保健生活協同組合 利根中央病院  
発行人：糸賀 俊一

〒378-0053 沼田市東原新町1855番地1 TEL.0278-22-4321  
ホームページ <http://www.tonehoken.or.jp/>



## 新病院に向けて 泌尿器科の展望

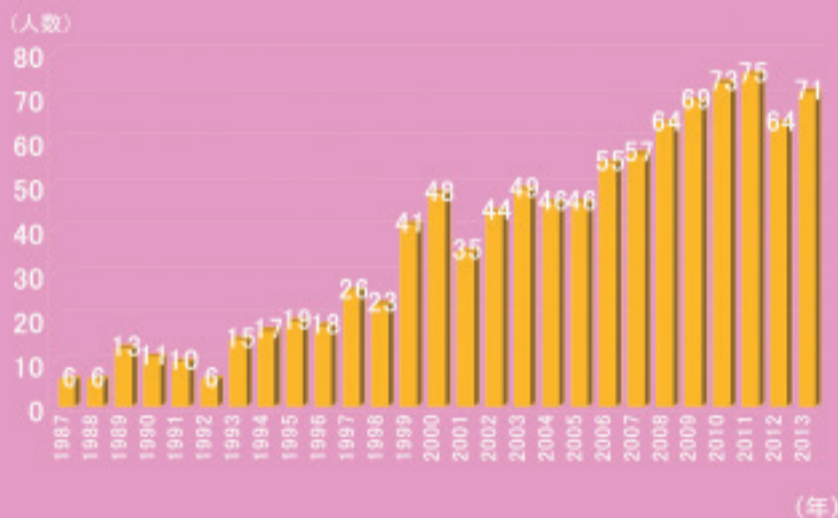
泌尿器科 部長 田村 芳美

利根中央病院泌尿器科は昭和62年に開設となりました。以来、今日まで群馬大学泌尿器科学教室からの全面的なバックアップのもと、利根沼田地域での泌尿器科医療に微力ながら貢献させていただきましました。新病院移転にあたり当科の特徴的な診療の展望を述べさせていただきます。

### ①前立腺癌の診断・治療

当科では開設以来、平成25年までの間に1,005例の前立腺癌を診断、治療してまいりました。特に前立腺癌集団検診で異常を指摘された場合、群馬大学からの依頼により精密検査を施行してい

【年次別前立腺癌症例数】



ます。しかしながら、集団検診であってもまれに見つけれない癌があります。そこで当院の人間ドックでは全国に先駆けてさらに早期発見が可能なシステムを取り入れました。新病院移転に際し、さらに実績が上がるものと考えています。早期前立腺癌が見つかった場合、開腹による摘出手術が必要な場合があります。最近の技術の進歩で他人の血液を輸血することはなくなりました。さらに手術後10日以内の退院も可能になりつつあります。

### ②尿路結石の低侵襲治療

平成12年6月より体を切らずに尿路結石を治す体外衝撃波結石破碎術(ESWL)と呼ばれる治療を北毛地域で唯一開始し、平成26年7月までに1,010例を治療しました。近年、結石を内視鏡で直接観察し、レーザーで碎石する装置(TUL)を購入しました。現在は、お臍より低い位置の結石に対しTULを実施しています。ESWLの弱点は、治療中の痛みと、1回の治療で完治できない結石が13人中3人ほどいることですが、TULはそれを凌ぐ優れた治療方法です。新病院移転後はお臍より高い位置での結石もTULで治療できるように準備を進めてまいります。

その他にも、当科ではあらゆる泌尿器科疾患に対応できるよう最新の知識を吸収しながら日夜研鑽を積んでいます。群馬大学以外の著名人の意見にも耳を傾けながら、全国の学会で積極的に発表しています。泌尿器科に関する事で、お困りのことがございましたら、お気軽にお問い合わせください。

## 「病室モデルルーム」 見学会に参加して

～組合員一丸となって新病院づくりを！～

写真ではなく大型クレーンや重機が目前で忙しそうに動いている様子は、とても迫力があり、着実に工事が進行していることが理解できました。

工事は、建設会社のお力で順調に進むことは間違いないと確信できましたが、建設に係る費用の捻出や完成後の運営という大きな問題にこれから組合員一丸となって取り組んでいかなければならないと考えると、何だかとても大変なことで身の引き締まる思いを感じたのは、きっと私だけではないと思います。



▲白沢支部のみなさん(7月29日)

# 入退院センターの運用がはじまりました

地域連携室 師長 小野 節子



新病院では、玄関をまっすぐ入った正面に「総合支援センター」を設置します。この総合支援センターは、主に地域連携室、相談室、そして入退院センターの3つの機能を有し、地域と患者様と病院を総合的に結び付けてサポートできる役割を担う予定です。

新病院での新たな運用を見越して、この7月より「入退院センター」の運用を開始しましたので、業務をご紹介します。地域連携室の窓口に職員を配置して面談室で予定入院の患者様に対してオリエンテーションを行ながら、入院に必要な情報も（一部）一緒に聞き取りを行っています。また今後は、検査予約や入院日の担当窓口、内服薬の事前確認等も行い、入院に関して心配なことを総合的に担当する窓口として運用していけるよう考えております。この間、対応しました患者様からは、「一人ひとりが静かな個室で説明を受けられるため、質問もしやすいです。」と好評の声を頂いております。

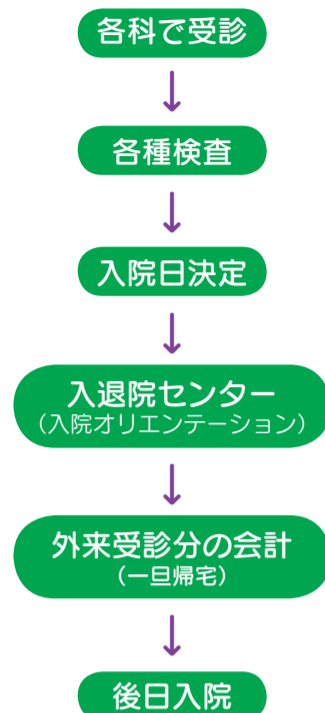
9月からは、予定入院のみに限らず当日入院（急患を除く）が決定した患者様にも、センターの活用ができるように進めています。

新病院でなければ（ハードが変わらなければ）できないこともあるかも知れませんが、現病院でできることは、柔軟に取り入れ

て改善していく方針です。各職場との連携もいっそう強化して、患者様、ご家族様が安心して入院できるためのお手伝いやより良いサービスが提供できるように、引き続きプロジェクトで検討を重ねてまいります。

入院に関して御心配なことは、「入退院センター」にお気軽にお声掛けください。

## 入院までの流れ



◀ 私たちが担当しております  
本多看護補助者（左）、大塚看護師（右）

# 新病院の骨格完成！ 7月竣工、9月開設予定

これまで4節に分けて施工してきた鉄骨建方が7月で終了し、現在7階床のコンクリートの打設が行われています。また、一部で、外装・内装工事も始まりました。

設計事務所、施工業者さんと新病院の1階部分から、施工図面の最終確認作業を行っています。



外装工事：1～3階部分の外壁工事

内装工事：防火区画壁が立ちあがってきています。

